



校長室だより

八代市立八代小学校
校長 村嶋 博史



学校教育目標「自ら学ぶ子供」

R6,9,10 No,21

八代小ホームページ

防災教室がありました

9月2日(月)、5年生を対象とした「防災教室」が行われました。

気象予報士の方やNPO法人防災WESTの方、八代河川国道事務所の方が来校され、1時間半にわたり、防災(命を守る行動)に係る知識や技能を教えてくださいました。



子供たちは、グループで八代市のハザードマップを基に浸水時の避難の仕方を考えたり、個人でマイ・タイムラインを作成したり、浸水時の扉の開閉実験などを体験したりしながら、身近な防災(命を守る行動)について学んでいました。

ご家庭におかれましても、台風や大雨、地震等の際の避難場所(家族の集合場所)を確認したり、備蓄用食材の準備したりして、いざというときに備えてほしいと思います。

※インターネットサイト「早よ見なせ球磨川」では、球磨川流域の雨量、水位情報、リアルタイムのライブカメラ画像、レーダ雨量などの防災情報を手軽に入手できるようにしていますので、ぜひご覧ください。

2学期最初のボランティア活動

9月4日(水)の始業前の時間、環境委員会の子供たちの呼びかけで、2学期最初のボランティア活動(学校園の除草作業)が行われました。参加した児童は、時間の経過と共に徐々に増え、最終的には約50人にのぼり、大変嬉しく思いました。



2学期の学校全体の頑張り目標の一つに掲げた「ボランティア活動(学校や学級のために自ら動く)への積極的な参加」に込めたこの行動に、改めて本校の子供たちの素直さと公共心を感じました。次回からは、始まりの時刻から参加する子供が増えることを期待しています。

今後も、当番活動ではない、自主活動に一人でも多くの子供が参加するよう支援し、自己有用感やスクールプライドなどを育てていきたいと思っています。

「身だしなみで心を整える」

以前、(児童会の)運営委員会が、全児童に示した「シャツの裾をズボンの中に入れる、スカートの肩ひもを肩にかける、校内では名札をつける、長髪の場合はゴム等で結ぶ」などの身だしなみ(※)は、多くの子供に習慣化されていて、大変感心しています。

しかし、夏休み明けに多少乱れが見られましたので、今一度全校で確認したところです。

身だしなみで心を整え、その心で授業に向かったり、仲間と接したりしてほしい、そして、確かな学力や豊かな心を獲得してほしいと切に望んでいます。

※「身だしなみ」とは、人に不快感を与えないように、服装や言葉遣いなどを整えることです。

※ちなみに、似ている言葉の「身なり」とは、衣服や装身具などを身につけた姿、またはその人の外見のことです。学校などの集団生活の場や公共の場では、みんなが気持ちよく生活することを念頭に置いて「身だしなみ」を大切にさせたいと思います。